



第22回 富山県作業療法学会を終えて

学会長 金沢医科大学氷見市民病院 藤井 智子

令和7年2月23日に射水市アイザック小杉文化ホールラポールにて第22回富山県作業療法学会を開催しました。今年は3年ぶりの大雪に見舞われ学会当日は天候が心配されましたが、雪の影響は少なく無事に開催することができました。

今回の学会テーマは、「つながることで見えてくるもの 私たちのリスタート」としました。人と人、人との、人と技術をもとに作業療法のつながりを再認識、再構築しつながることで見えてくるものを実感してほしいという思いを込めました。

今回の学会で新しく行ったこととして、ハイブリッド開催の2会場配信と、peatixを使用しての参加登録を行いました。配信は、当日トラブルなく行え、登録に関しても、スムーズに登録頂けました。当日は174名（オンライン19名）の参加がありました。多職種の方

やOT学生、県外のOTの参加もありました。沢山の方に参加して頂き、テーマに込めた思いが伝わった形となったのではないかと大変うれしく思います。

特別講演には、日本作業療法士協会・副会長の香山明美先生をお迎えしました。先生には、「これからの作業療法士に求められているもの世代を超えた作業療法士像の共有を目指して」のテーマ



でご講演いただきました。OTが地域づくりにかかわっていくこと、市町村を知ることが大切であること伝えて頂き、今後私たちが行っていかなければならないことを学びました。また、先生が実践されていることも紹介頂き、大変興味深いものでした。

シンポジウムでは、「人と人をつなぐICTと作業療法の融合」のテーマで3人のシンポジストの先生にお話頂きました。介護ロボットやICTに関しては、昨年、富山県の補正予算も拡充され後押しされており、作業療法士として知見を深めていかなければならない分野だと思い企画しました。シンポジストの先生方にはOTに期待することもお話頂き、苦手意識があったICTの分野に一步踏み出せる感じがしました。

その他、沢山の企画を実施しました。少し盛り込み過ぎましたが、県士会で行っていることや県内のOTが活躍しているいろんな分野を実感して頂けたと思います。演題も18題集まりました。その中でも新人発表枠を設けました。会場に入りきれないほどの方が聞きに来て頂き、新人発表者の方は少し緊張されたかもしれません。また、今回は新人賞を設けました。新人賞は、介護老人保健施設みしま野苑一穂 長谷川彩香さんが受賞されました。新人発表された方には、学会発表を機に今後のご活躍を期待致します。

最後に、本学会開催にあたり参加された皆様、ご協力頂いた関係者の皆様には心よりお礼申し上げます、本学会が無事成功したことをご報告させていただきます。





新人賞を頂いて

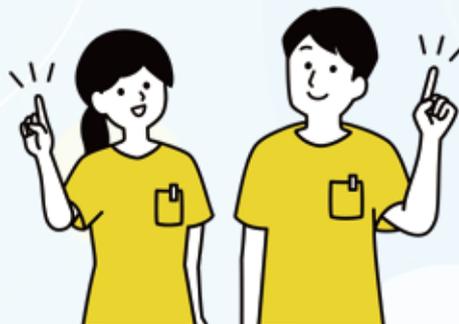
介護老人保健施設みしま野苑一穂
長谷川 彩香



先日第22回富山県作業療法学会の新人発表枠で新人賞を頂きました。発表する事例を決める際はとても悩みましたが、老健で入所を担当している自分の立場であるからこそ発表できる内容をしたと考え、長期の入所となっている利用者が意欲や認知機能を1年間維持したという事例を発表させていただきました。事例の能力等が維持され、様々なことに対して意欲的に取り組んでいたことが私にとってもモチベーションになっており、担当している身としてもやりがいになっていました。発表内容を考える中で、利用者の生活史や嗜好等について知ることや考えること、利用者の意欲を生かすような場を作ることは大切なことだと改めて思いました。事例はこれからも施設での生活が続くと予想されるため、可能な範囲で外出や趣味活動等を継続し、少しでも長く現在の本人の意欲を維持できるように今後も関わっていきたいと思います。

また、個人的なことですが今回学生以来初めての発表であった為、抄録やスライドの構成等の作り方も曖昧でよく分かっておらず、とても悩みました。職場でも発表練習をし、アドバイスをいただきながら準備をしていましたが、漠然とした不

安や緊張を抱えたまま当日を迎えました。当日は職場の方々や学生時代の先生方、実習での指導者の先生等、学生時代から現在までお世話になっている方が多くおられました。その為、その方がおられる前での発表は授業参観のようでとても緊張しました。しかし、発表をする自分の姿を見ていただけたことは嬉しく、わずかですが成長できたような気もして発表をして良かったと思えました。始まる前や終わった後も声をかけていただき、私にとっても改めて過去・今の繋がりや環境のありがたさを感じる良い機会となりました。学会の1コーナーですが発表を無事乗り切ったことが、1つ自信となったような気がします。他の発表者の方々の発表もとても刺激になり、勉強になりました。今後も今回の事例や発表で学んだことを生かし、利用者に関わっていきたいです。



『OT福祉用具支援ネットワーク富山』の



福祉用具支援事業委員会 委員長 浜出 都
(特別養護老人ホームつまま園)

皆さんは、日々の臨床で福祉用具に関わる機会が多いでしょうか？対象者の困りごとを解決するために、どのような福祉用具等を適合すればよいか迷うことはないでしょうか？

福祉用具支援事業委員会では、LINEオープンチャット『OT福祉用具支援ネットワーク富山』で福祉用具等の情報交換をしています。委員でない方の参加も大歓迎です。ニックネームで参加ができます。

2020年8月～運用を開始し、約5年が経過しました。現在60名ほどの方に参加していただいています。身障、発達、訪問等、参加メンバーの職域も広く、頼りになる経験豊富なメンバーや、多くの登録者・助言者が集っており、些細な事でも、聞き辛いとを感じる事でも、気軽に聞くことができることが大きな強みです。登録や退出も自由です。コメントを掲載しても、読むだけの参加も、どちらとも可能です。

ネットワークの利用には、個人を特定できないよう配慮が必要等、いくつかのルールはありますが、画像の共有等、リアルタイムで情報交換がで

きます。欲しい情報が素早く手に入り、複数の方々からの情報がいただけるので、選択の幅が広がります。

私は特別養護老人ホームで勤務しています。一人職場であり、日々悩むことが多いので、このチャットを使用して相談することがとても多いです。

最近では福祉用具以外に3Dプリンタやインカム、IT関連の情報提供もありました。

今後は、OT以外の職種の方にも参加を呼びかけていく予定です。

福祉用具はOTの得意分野の1つであると言われてはいますが、使い方や適合を間違えると、効果が発揮されず、事故に繋がる等、かえって負担をかけてしまうことがあります。また、環境によっても、導入した方が良いものは変わってくるため、アセスメント・モニタリングは重要です。導入すれば解決するものではない為、用具の特徴や正しい使い方を知る・他者に教えることが大変重要となります。このチャットを通して、福祉用具等を盛り上げていきたいと考えています。

チャット内でのやり取りの様子

二次元コード



● 会員異動等

種別	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
退会	飯田 正樹	国立病院機構 富山病院	国立病院機構 七尾病院	
退会	中山 真一	魚津緑ヶ丘病院		
退会	浦野 千佳子	通所リハビリテーションあいの風		
改姓	入江 あゆみ			旧姓:飛田
改姓	伊藤 彩佳			旧姓:阪本
改姓	山口 麗花			旧姓:米田
異動・改姓	三邊 華奈	万葉病院	自宅	旧姓:藤田
異動	押田 幸弥		介護老人保健施設 つるぎの庭	新入会
異動	麦谷 優一		富山県立中央病院	新入会
異動	湯口 美香		介護老人保健施設さくら苑	再入会
異動	森川 瑛		佐々木病院	新入会
異動	田近 莉来		介護老人保健施設 みどり苑	新入会
異動	山本 司紗		高岡市民病院	新入会
異動	廣田 南桜		富山西リハビリテーション病院	新入会
異動	溜田 美咲		光ヶ丘病院	新入会
異動	太田 喜梨		にしの老人保健施設	新入会
異動	中川 優太		仁泉メディケア	新入会
異動	野村 杏羽		光ヶ丘病院	新入会
異動	古賀 千尋		富山大学附属病院	新入会
異動	山本 勇氣		光ヶ丘病院	新入会
異動	山口 晴世		光ヶ丘病院	新入会
異動	萩原 杏美		富山西総合病院	新入会
異動	堀井 彩乃		富山西リハビリテーション病院	新入会
異動	三邊 華奈	自宅	NPO法人 ハレア 放課後等デイサービスtwin奥田校	
異動	高柳 寿子	介護老人保健施設 シルバーケア今泉	富山城南病院 城南通所リハビリセンター	
異動	戸田 耕平	PDハウス 秋吉	葵の園 なんと	
異動	佐藤 望	浅ノ川総合病院(石川)	高岡市民病院	新入会
異動	前田 郁実	やわたメディカルセンター(石川県)	富山西リハビリテーション病院	新入会
異動	宝泉 百合香	老人保健施設 こぶしの庭	特別養護老人ホーム 越之湖	
異動	出口 裕基	富山大学付属病院	ヴィストカレッジ富山県庁前	
異動	島 武史	あおい病院	特別養護老人ホーム のむら藤園苑	
異動	北山 依寿美	富山西総合病院	富山西リハビリテーション病院	
異動	竹下 広武	介護老人保健施設 チューリップ苑	富山西総合病院	
異動	佐賀 真也	ソフィアメディ訪問看護ステーション射水サテライト高岡	ソフィアメディ訪問看護ステーション高岡	
異動	渡邊 雅行	自宅	プレミアム国際地域リハビリ研究所	
異動	永山 鮎美	くじらぐも	NPO法人ダイバーシティこどもの家たけの子	

施設紹介

介護老人保健施設 みどり苑 亀田 千尋

みどり苑では、入所リハビリ部門、通所リハビリ部門と訪問リハビリ部門にて、PT・OT・STがリハビリを行っています。

入所リハビリ部門はPT 4名、OT 2名、ST 2名、DH 1名の合計9名のリハビリスタッフが所属しており、要介護者（整形外科疾患や脳血管疾患、内科疾患、認知症など様々な疾患）に対して、在宅復帰超強化型の施設として、在宅復帰を目標にリハビリを実施しています。100名（一般棟55名、認知症等45名）の入所者様に週3回の個別リハビリ（20分）、入所から3か月間は短期集中リハビリとして月～土曜日（祝日含む）週6回の個別リハビリを実施し、在宅復帰を目指します。通所リハビリ部門では、PT 4名、OT 2名、ST 1名の計7名のリハビリスタッフが所属し、要支援・要介護の方を対象に在宅生活の維持向上を目指したりハビリを提供しています。多職種にてリハビリ会議を実施、目的に応じたりハビリプログラムを作成し、個々に必要なリハビリ（個別＋セルフリハビリ）を実施しています。退院・退所後の利用者には短期集中リハビリとして40分以上の集中した個別訓練を実施しています。

訪問リハビリ部門はPT 3名、OT 1名、ST 1名（兼務）の計5名が所属し、ご自宅に伺い、要支援・要介護の方に実際の生活場面に即したりハビリを行います。法人内での連携も積極的に行って

おり、病院退院後や外来の医療リハビリから訪問リハビリへ移行される方も増えてきています。

また、法人全体として2018年よりロコモティブシンドローム啓発活動として年1回「ロコケン」を開催しています。ロコケンには富山県民を対象に、健康寿命の延伸を目的として、自身の身体状態を確認し、将来の介護予防としての取り組みとして行っています。内容としては、ロコモチェックなどのロコモ度検査、栄養状態の確認による栄養バランス検査などの運動・栄養を中心とした身体機能確認を行っています。そのほかに、認知機能や口腔機能の検査、子供ロコモなど若年層から高齢層まで幅広くロコモの周知を行っています。取り組みを継続し、一人でも多くの県民にロコモを広め、健康な身体を保っていただきたいと考えています。興味のある方はぜひロコケンへの参加をお待ちしております。

ロコケンの様子





富山県リハビリテーション病院
・こども支援センター

松田 日和

県士会の皆さまこんにちは。同じ職場の先輩である坂井亜伽里さんからバトンを引き継ぎました。今回のコラムを担当させていただきます、富山県リハビリテーション病院・こども支援センターの松田日和と申します。私は作業療法士になって2年目です。昨年回復期で働いた1年間は初めてのことを多く体験し、学び、たくさんの先輩方に教えていただき、あっという間に過ぎていきました。2年目からは希望していたこども療法課に異動となり、4月から発達領域の作業療法を担当しています。新たな環境で大変さもありますが充実した日々を送っています。今後も多くを経験し、学び、発達領域の作業療法士として成長していきたいと思っています。

さて今回は私の好きなことについて少しお話させていただきます。私は体を動かすことが大好きです。今回バトンを受け取った坂井さんや同僚と職場以外でも仕事終わりにバドミントン

やビーチボールなどスポーツをしたり、休日にラウンドワンに行ったりと体を動かし、楽しい時間を共にしています。また私は小学生の頃から柔道をしており、最近は週3回ほど小学生に教えたり一般の方と共に汗を流し柔道を楽しんでいます。指導者として小学生の試合を見る機会が増え、練習以上の力を出し全力で取り組んでいる姿にパワーをもらい、「私も試合に出たい!」という気持ちが湧いているところです。今年は試合に出場することが目標です。これからも仕事・プライベートどちらも目標をもち充実した毎日を過ごしていきたいです。

最後に、次は同じ専門学校の同級生である富山西リハビリテーション病院に所属している北山依寿美さんにバトンを渡したいと思います。よろしくお祈いします!



障害児入所施設・療養介護施設あゆみの郷

長澤 里菜

県士会の皆様こんにちは。富山医療福祉専門学校の同級生であった、松尾怜奈さんからバトンを受け継ぎ、今回コラムを担当させていただきます。障害児入所施設・療養介護施設あゆみの郷の長澤里菜と申します。作業療法士として働き始めて4年目の月日が経ちました。入所者さんとの意思疎通が難しく大変な場面も多いです。入所者さんからの声かけや笑顔を見るとこちらも元気のパワーをもらえていることに日々感謝しています。これからも入所者さんの支えになれるよう努力したいと感じます。

さて今回は、私の趣味についてお話をしようと思います。私は「水族館」に行くことが好きで、ペンギンやアザラシなどの可愛い生物をみると癒されます。2022年から「全国的水族館制覇」を目指しています!能登水族館から始まったこの企画は、現在47都道府県中6ヶ所行

くことができました。道足は遠いですが、楽しい思い出作りになると思うと嬉しく思います。

行った中でみなさんにオススメしたいのは、愛知県にある名古屋港水族館です。国内では珍しいシャチやベルーガなどのトレーニングを見ることができます。シャチを初めてみた時の驚きはすごかった印象です。ぜひ皆さんも、シャチやベルーガに会いに足を運んでみて下さい!

最後に、富山県立中央病院に所属している速水愛華さんにバトンを渡したいと思います。よろしくお祈いします!



令和6年度 第10回理事会

日時：令和7年3月27日（木）19時から

場所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：齋藤、桐山、大平、吉波、渡邊、塚田、
水島、中川、堀口、丁子、田中、能登、
小倉、森

欠席者：小倉

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 教育局（能登理事）

- ・生涯教育について

令和7年度は現職者共通研修テーマ1～8ま
でをeラーニングでの実施予定。

協会で公開されているものも活用する。

その他のテーマについては例年通り実施予定。

新生涯教育制度や認定作業療法士は、能登理
事が資料を塚田理事提出。

2) 富山県作業療法学会

- ・令和8年3月1日開催予定。広報誌にて案内
予定。

講師依頼終了。広報誌の大枠が完成（資料
参照）。今後は演題募集、運営協力依頼など
種々の準備を進めていく

- ・令和6年度の県学会実施報告（アンケート結
果は資料参照）

参加者176名で例年と比較するとやや多く、
内容・運営ともにおおむね好評であった。

3) 生活作業療法委員会

1月26日 地域リハ実践研修会（応用編 開催

- ・参加者22名 参加者の顔ぶれは変わらず。若

い層の参加促進などの対策が課題。

- ・新川地区で意見交換会が開催された（大平理
事出席）

4) 災害リハビリテーション

- ・研修会 3月12日（水）19時から
講師：渡辺理事

- ・参加者20名

参加者は委員が中心であり、他の参加促進
については課題である

- ・国試で災害リハの出題あり、今後はこういっ
た分野への関心が高まる事に期待。

5) 2025年度功労表彰対象者（資料参照）

- ・該当者15名

連絡は、各理事に振り分ける。吉波理事が
分担表を作成し、全理事に連絡予定。

6) 2024年度退会者（資料参照）

32名の退会者あり。退会理由には、委員会活
動への負担、研修会等への参加困難などあり。
これらについて、会員同士の繋がりの強化、育
児世代の参加促進、作業療法士の社会的地位を
あげるなど、県士会所属の意義や価値、活動へ
の参加のしやすさなどの対策が必要になると考
えられる。LINEやオープンチャットの活用
など、手軽に参入できる方法も模索する必要あ
り。

2. 日本作業療法士協会関連

1) よんぱち

- ・3月2日 塚田事務局長、大平副会長、桐山
副会長 出席。資料、議事録は別紙参照

2) 倫理委員会

- ・ 3月1日 丸本氏 出席 (別紙参照)
各士会の委員会設置状況・立ち位置的なものがそれぞれで異なっている。当士会においては、新たな委員を加えるかなどの提案もされたが、今後の組織運営をみながら検討。

3) 地域事業支援会議

- ・ 3月9日開催。大平・水島・池畑・市森の4名が参加。詳細は後日送付される議事録参照 (水島)
協会HPに種々情報を載せていくので、適宜確認を。
- ・ 3月31日 東海北陸のCブロック会議開催予定。水島理事出席予定。

4) 令和7年度 OT協会定時社員総会

- ・ 5月31日 (土) 13時から
代議員の参加予定

3. 富山県関連

1) 産保研究

- 3月18日 齋藤、渡邊氏、野田氏 出席
- 3月24日 渡邊氏、野田氏 出席

2) 運転に関する問い合わせ

運転とリハビリに関する内容の問い合わせについては丁子氏・佐々木氏が書面にて対応済

4. 東海北陸

1) 東海北陸学会

- 令和8年1月10日～11日
ウイंकあいち：メーリングリストにて案内済

《検討事項》

1) 令和7年度 総会について

(1) 新人向け紹介文 (別紙参照)

- ・ 内容の取り纏めや新入職員への案内文を作成し、総務に提出する (桐山)
- ・ 令和7年度の新入会員の配属は、オープンチャットを通じて各部会・委員会・学会などの担当者が情報を発信し、実際に委員会や研修会などに参加してもらうなどした上で希望を募り、決定する。
- ・ 令和7年度は新規部員募集は例年通り行うが、今後は他の部会・委員会の掲載を行うかどうかも検討
- ・ 組織図を配布資料に同封し、どういった部会・委員会があるか把握してもらうこととする。

資料は塚田理事から総務に提出する。

(2) 予算案再提出について：各担当者から修正されたものが提出され、財務にデータ送付済。

(3) 総会運営 (時間と会場、準備)：左記について確認した。会場設営や駐車場案内は教育部や理事にも協力してもらう

(4) 総会資料：各理事・監事は担当部門の内容を確認・修正し、総務の羽田野氏へ提出する。

締め切りは4月13日だが、出来るだけ早めの提出とする。

2) 被災会員の会費免除規程について (別紙参照)

- ・ 理事会にて承認。令和7年度からの運用。能登半島地震の被災も適応。

3) 財務業務に関する交通費について(別紙参照)

これまで入出金や物品購入時には交通費など支払われていなかったが、これらの負担は大きいため、今後は交通費を支払う事とし、令和7年度から運用する。

令和7年度 第1回理事会

日 時：令和7年4月17日(木) 19時から

場 所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：桐山、大平、吉波、渡邊、塚田、水島、
中川、堀口、丁子、田中、能登

欠席者：齋藤、小倉、森

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 教育局(能登理事)

- ・6月8日の総会で生涯学修制度の説明会予定
- ・9月20、21日 臨床実習指導者講習会予定

2) 富山県作業療法学会(桐山理事担当)

- ・総会の案内にリフレットを同封
- ・第4週木曜日の運営委員会を開催

3) 生活作業療法委員会

- ・3月31日 ブロック会議参加 参加者少ない
ブロックごとの県に呼びかける
- ・委員募集について、普段関わっている人を入れていきたい。

4) 災害リハビリテーション

- ・会費免除対象は、当該年度の会費が納められていること。納入確認などの確認が難しく運用方法を見直す。

5) 普及指導部

- ・高校生体験会を2回予定。7月27日(日)富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、8月3日(日) 厚生連高岡病院。メールを活用し連絡。

6) 事務局

- ・免許番号のはがきが届くまで時間が掛かるため、OT協会の登録ができない。先に県士会に入会可能

《検討事項》

1) 令和7年度 総会について

総会運営(時間と会場、準備)、新人向け紹介文の確認

今年度予算案は5月中旬までに作成

総会資料(第1号、3号議案)の確認

教育部主催の生涯学修制度の申し込みのためにグーグルフォームを作成し5月16日締め切り

令和7年度 第2回理事会

日 時：令和7年5月15日(木)

19時~20時15分

場 所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：齋藤、桐山、大平、吉波、渡邊、塚田、
水島、中川、堀口、丁子、能登、森、
小倉、田中

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 教育局(能登理事)

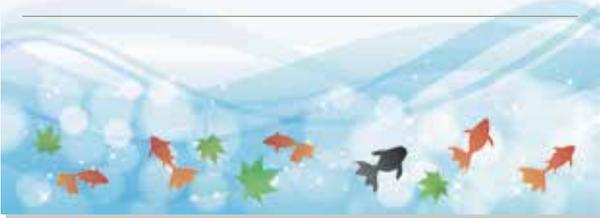
- ・認定作業療法士認定資格読み替え申請手続きについて説明

- 2) 富山県作業療法学会
- ・インスタ等にて情報配信
- 3) 生活作業療法委員会
- ・6月19日 第1回支援会議 3名出席予定
人材育成テーマ
- 4) 災害リハビリテーション研修会
- ・研修会 6月29日 午前開催 講師：石川県
こころの健康センター所長 角田医師
 - ・被災者の会費免除申請の流れ見直し
- 5) オープンチャット運用について
- ・現在14名参加 理事・部長・委員長などへの
参加促し
- 6) 発達障害部会
- ・学校生活支援事業について 別紙参照 市町
村教育委員会への働きかけ
5月2日 開催の全市町村の教育委員会会議
にて学校支援事業の報告・説明実施（桐山
氏）
- 7) 事務局
- ・事務局である富山医療福祉専門学校の空調故
障
→齋藤会長が事務局長面談。使用頻度の低い部
屋の空調の修理は行わない予定。空調が必要
な時は別部屋を利用。
2. 日本作業療法士協会関連
- 1) 理事選挙について
- ・システム不具合あり、再投票実施
投票期日 5月16日 開票日 5月17日
- 2) 医療保険・介護保険 説明会
- ・5月23日 18時～19時
メーリングにて周知 参加人数制限なし
3. 富山県関連
- 1) 富山県リハビリテーション専門職協議会
- ・5月14日 広域連合と令和7年度の委託契約
打合せ。PT染谷、OT齋藤、ST亀谷出席
 - ・9月4日（木）午後 情報交換会開催予定
- 《検討事項》
- 1) 令和7年度 総会について
- ・新人向け紹介文、予算、総会運営（時間と会
場、準備）、総会資料等
 - ・新人交流会飲食ありで可



編集後記

連日厳しい暑さが続いています。皆さま、体調はいかがでしょう？月並みですが、熱中症にはくれぐれもご注意を。水分補給や睡眠、バランスの良い食事など、ちょっとしたことですが普段以上に気を配って体調を崩さないようにしましょう。上手に夏を乗り切りましょう！



賛助会員名簿 (順不同)

会員名(代表者)	住所
学校法人金城学園 金城大学 (学長 米島 學)	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400 担当(総務企画課)
株式会社 富山県義肢製作所 (代表取締役 森田 忠浩)	〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16 TEL 076-425-4279
富山リハビリテーション 医療福祉大学校 (理事長 青池 浩生)	〒930-0083 富山市総曲輪4丁目 4番5号 TEL 076-491-1177
ライフ・クリエイト株式会社 (代表取締役 北野 満)	〒932-0814 小矢部市赤倉207 リハビリ・デイサービスおやべ TEL 0766-67-2001

一般社団法人 富山県作業療法士会より

メーリングリスト登録のお願い

現在、メールを通じて、ホームページや施設宛ての発送以外に多くの情報を配信しています。
これまでに、多くの会員の方に登録していただきました。
登録がお済でない方は、登録をお願いします。

■対象

一般社団法人 富山県作業療法士会会員

■配信内容

- 協会や県士会が主催する研修会の開催や変更に関するお知らせ
- 作業療法に関する情報(制度改定や最新情報等)
- 災害時の緊急連絡や情報提供
- 協会や県士会からの事務的な連絡
- その他作業療法に有用な情報 等



富山県作業療法士会
会員ML(メーリングリスト)登録

<https://forms.gle/o9XmsZc8cK7yyG8XA>

